

決算概要

決算ハイライト

経費が増加も、資金利益・手数料収入が増加 ⇒ 減収・増益となる。

| 【単体】 | 25/3期 | 前期との比較 | |
|-----------------|------------|------------|------------|
| | | 24/3期 | 前期比 |
| 業務粗利益 | 302 | 285 | +17 |
| 資金利益 | 269 | 256 | +13 |
| 役員取引等利益 | 24 | 20 | +3 |
| 役員取引等利益（除く信託報酬） | 18 | 15 | +3 |
| 信託報酬 | 5 | 4 | +0 |
| その他業務利益 | 8 | 8 | +0 |
| 国債等債券損益 | 7 | 6 | +1 |
| 経費（除く臨時処理分） | 192 | 188 | +4 |
| コア業務純益 | 103 | 91 | +12 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | ▲0 | ▲15 | +15 |
| 業務純益 | 110 | 112 | ▲2 |
| 臨時損益 | ▲17 | ▲29 | +11 |
| 株式等関係損益 | ▲5 | ▲6 | +0 |
| 不良債権処理額（臨時費用） | 16 | 25 | ▲9 |
| 経常利益 | 93 | 83 | +9 |
| 特別損益 | ▲0 | ▲0 | +0 |
| 不良債権処理額（戻入益） | — | — | — |
| 当期純利益 | 54 | 51 | +3 |
| 与信費用 | 16 | 10 | +6 |
| 開示債権比率 | 1.64% | 1.63% | 0.01% |
| 自己資本比率 | 11.88% | 12.25% | ▲0.37% |

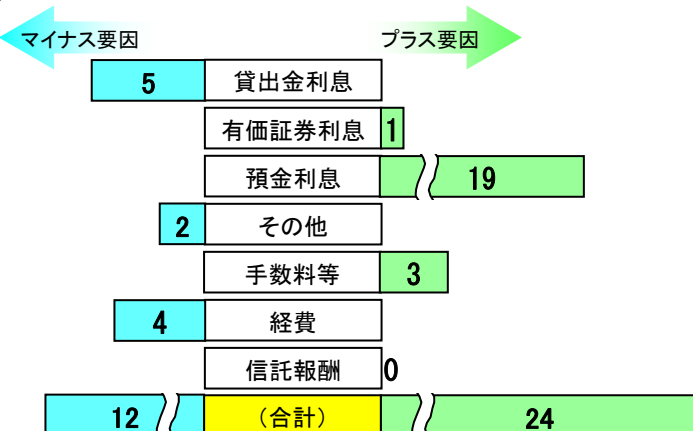
●対前期比増減

| | 平残 | 利回 | 利息 |
|-----------|----------------|------------------|--------------------|
| 貸出金 | +342 (+329) | ▲0.12 (▲0.12) | ▲5 (▲5) |
| 有価証券 | +722 | ▲0.05 | 1 |
| 預金 | +169 (+360) | ▲0.12 (▲0.12) | ▲19 (▲19) |
| その他 | — | — | ▲0 (▲0) |
| 合計 | — | — | 13 (13) |

注) () 書きは信託勘定を含んでおります。

有価証券関係損益はネットで+1

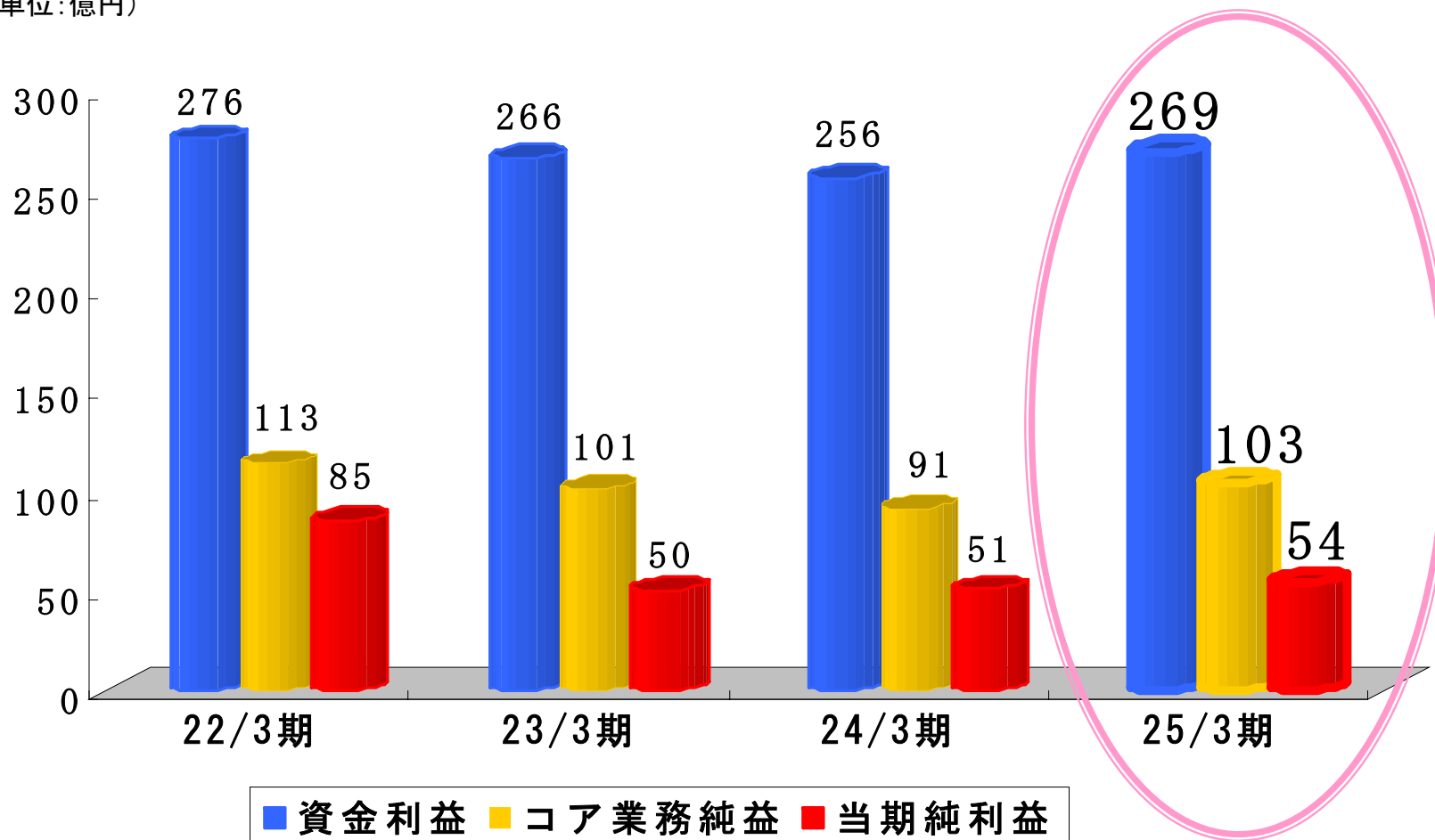
●コア業務純益の前期比



収益の推移

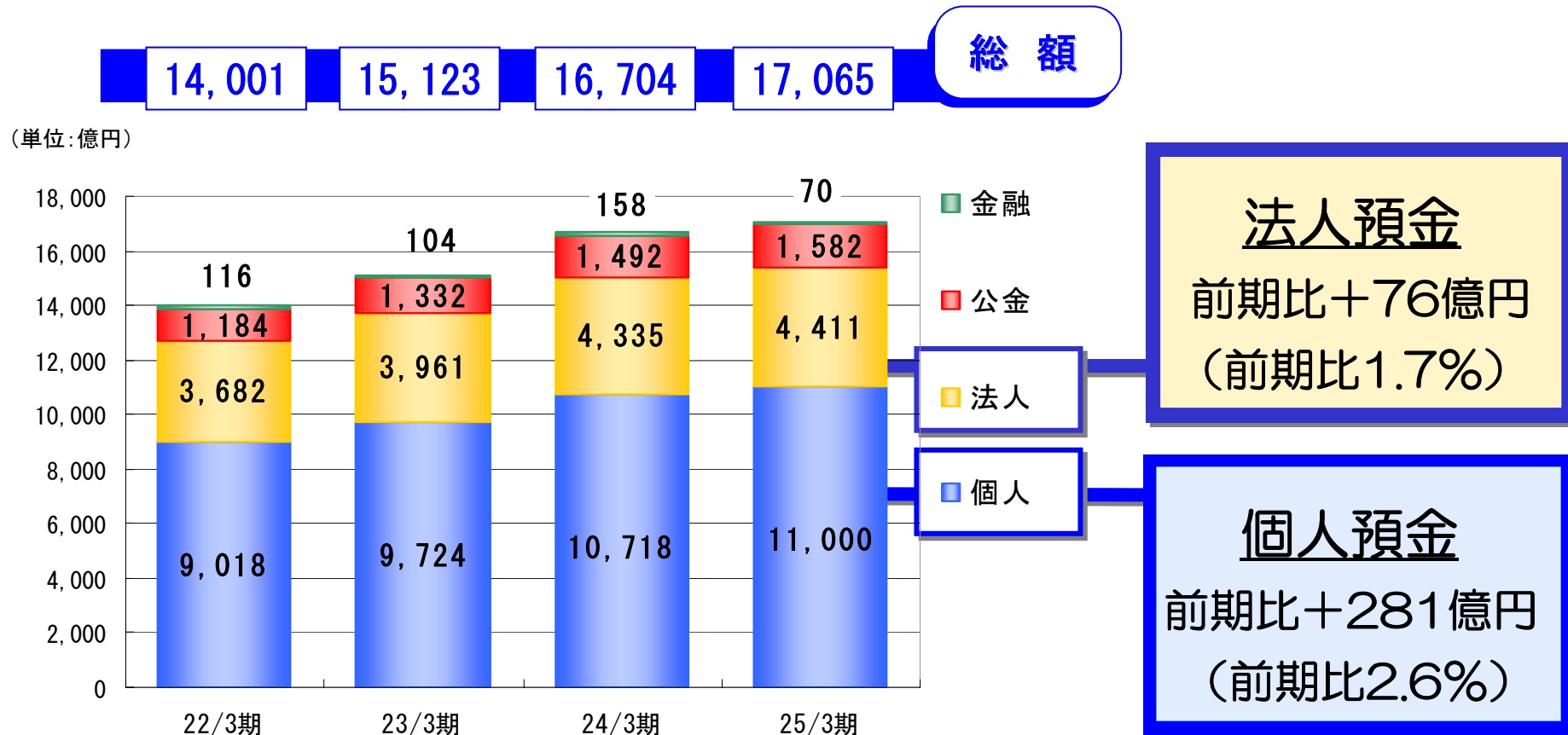
資金利益の増加を主要因に、コア業務純益増加

(単位:億円)



預金の推移（平残）

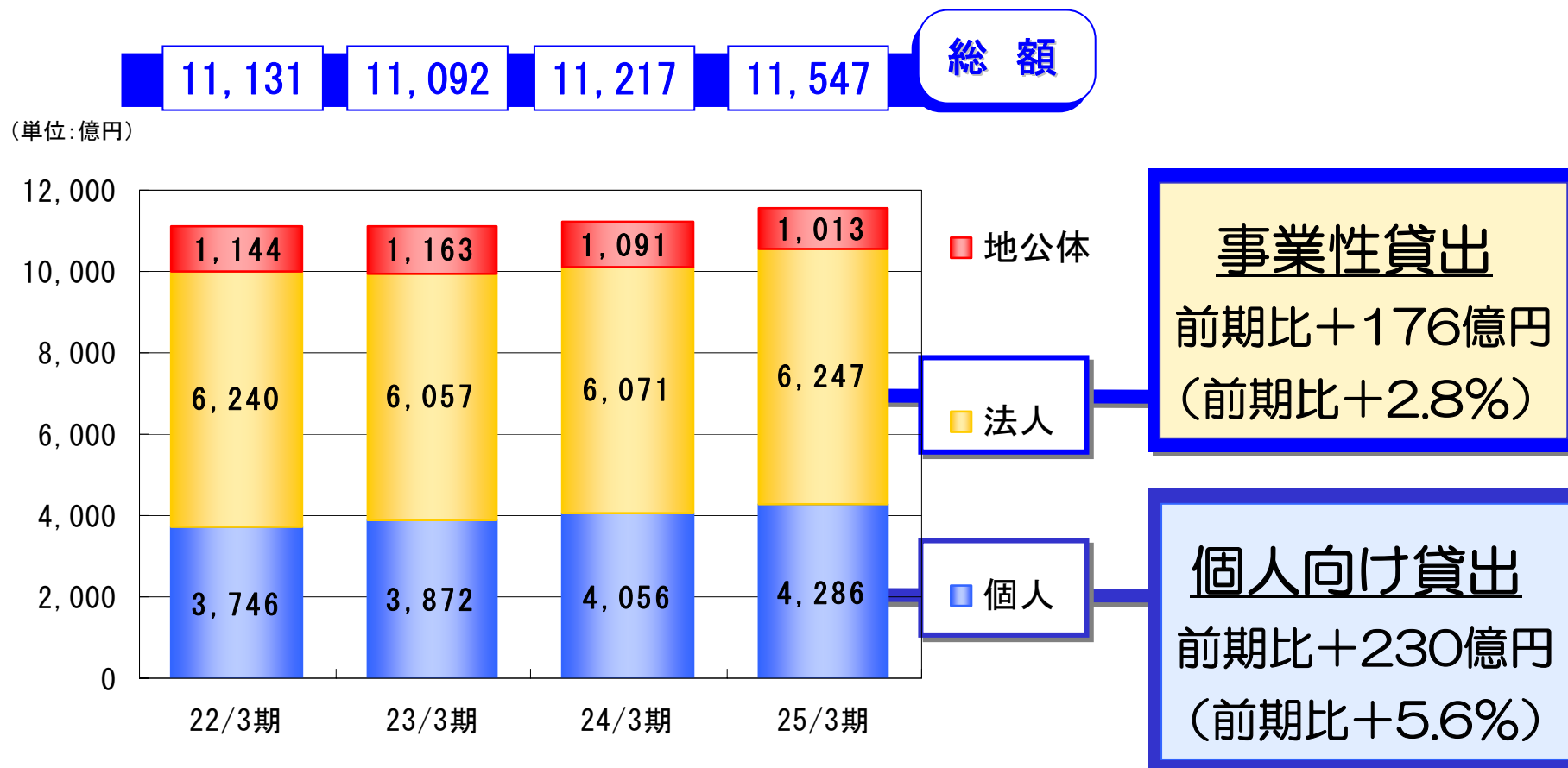
個人預金・法人預金とも増加
預金量は17,065億円（前期比360億円の増加）



※ 信託勘定を含んでおります

貸出金の推移（平残）

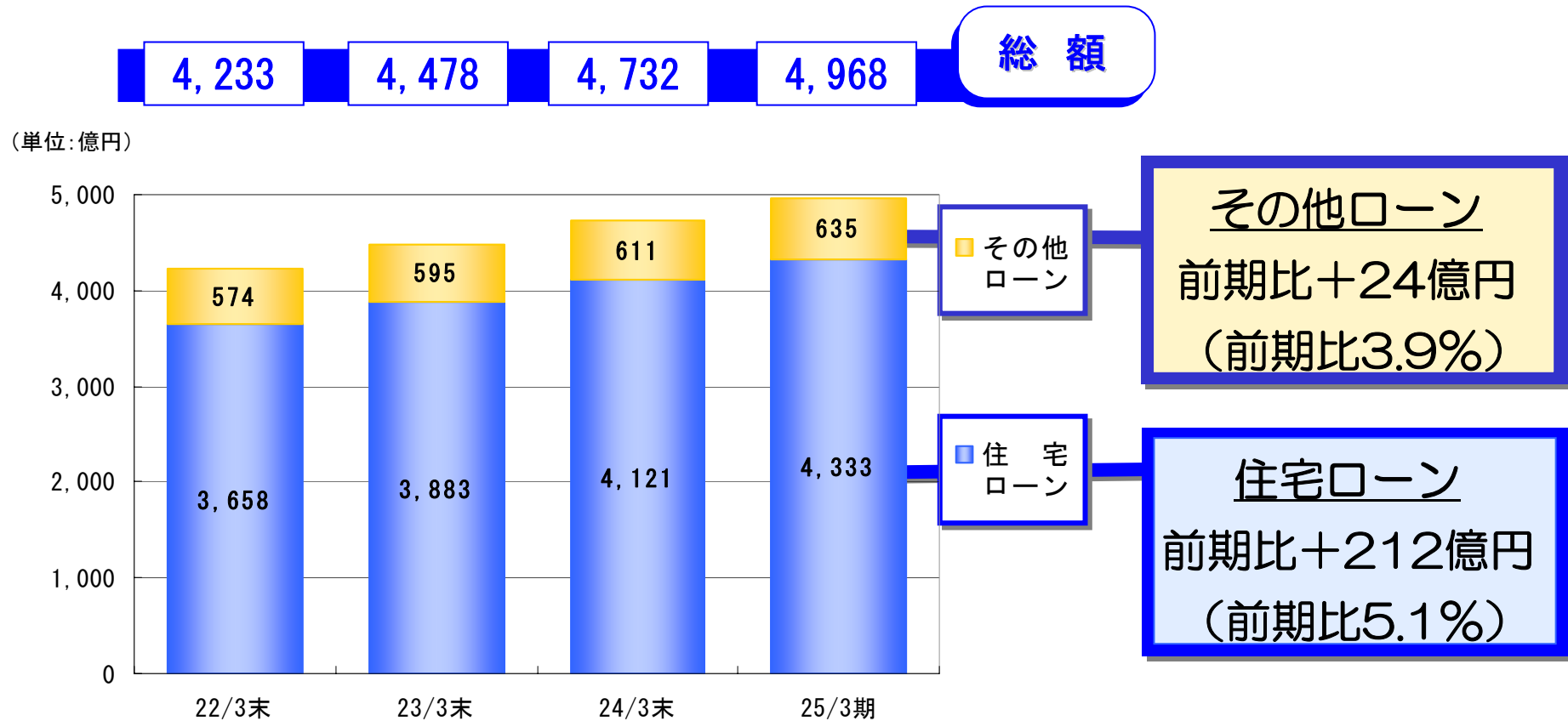
個人向け貸出・法人向け貸出ともに増加
総貸出金は、11,547億円（前期比330億円の増加）



※ 信託勘定を含んでおります

個人向けローンの推移（末残）

ローンFPステーションの取組強化により順調に推移
個人向けローンは、4,968億円（前期比236億円の増加）

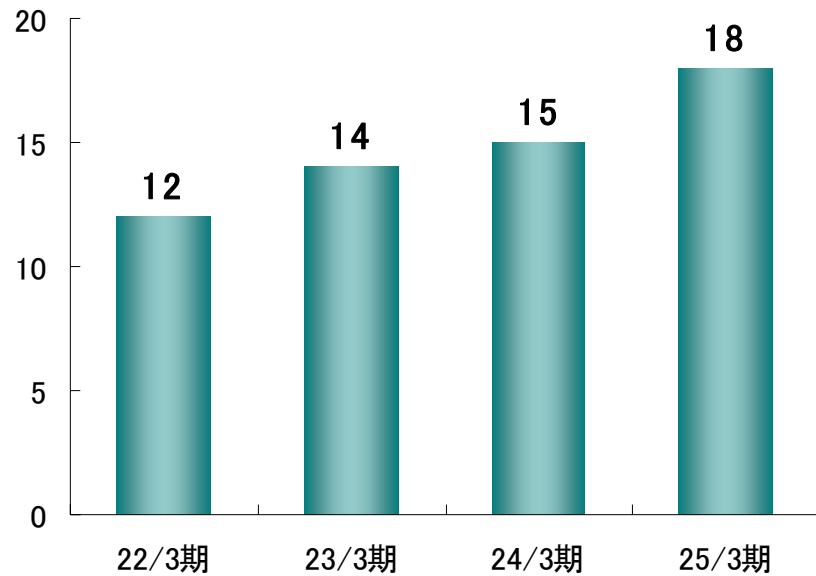


※ 信託勘定を含んでおります

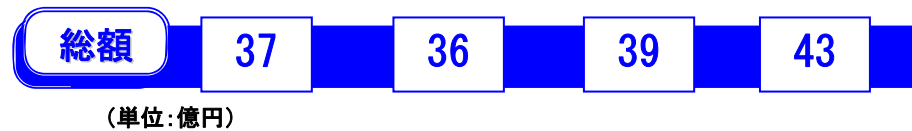
役務取引等利益（除く信託報酬）の推移

役務取引等利益(除く信託報酬)の推移

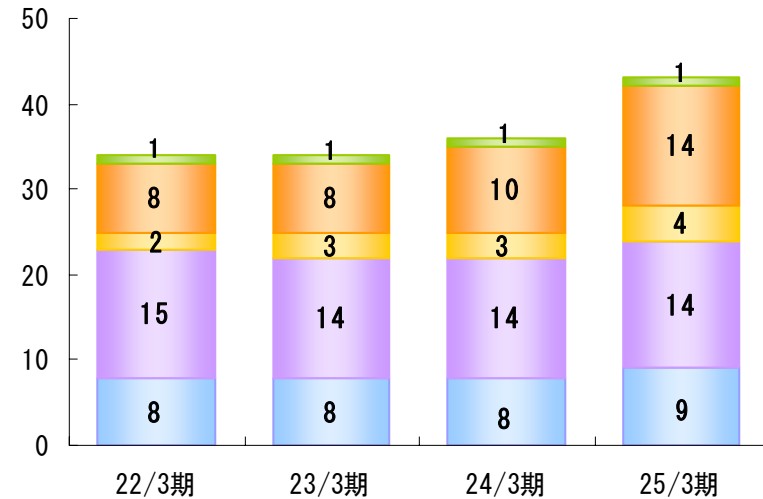
(単位:億円)



受入手数料の推移



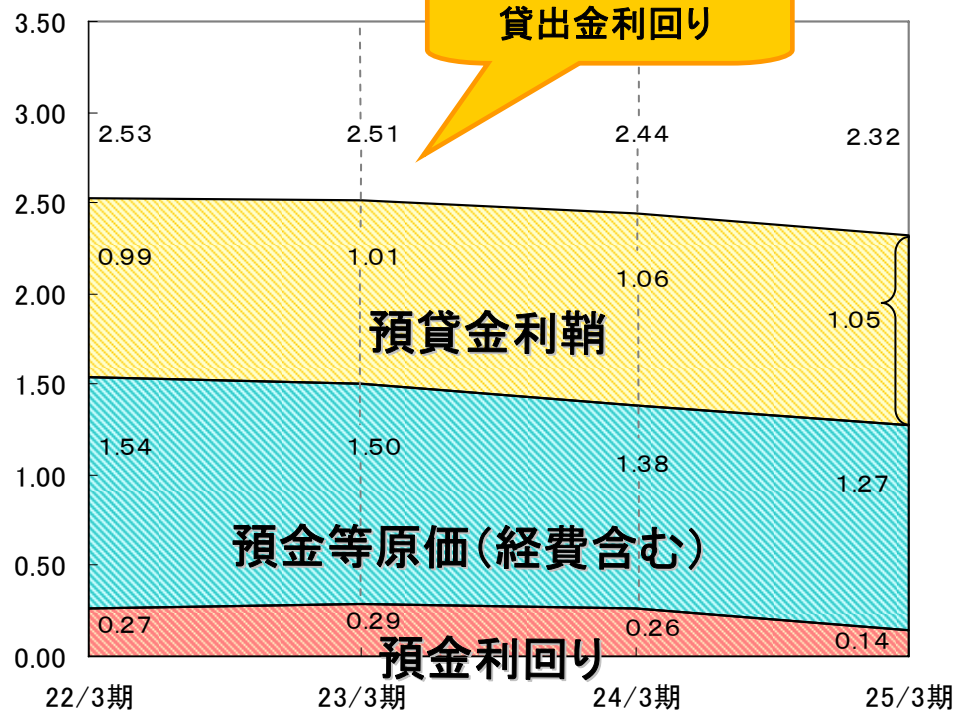
(単位:億円)



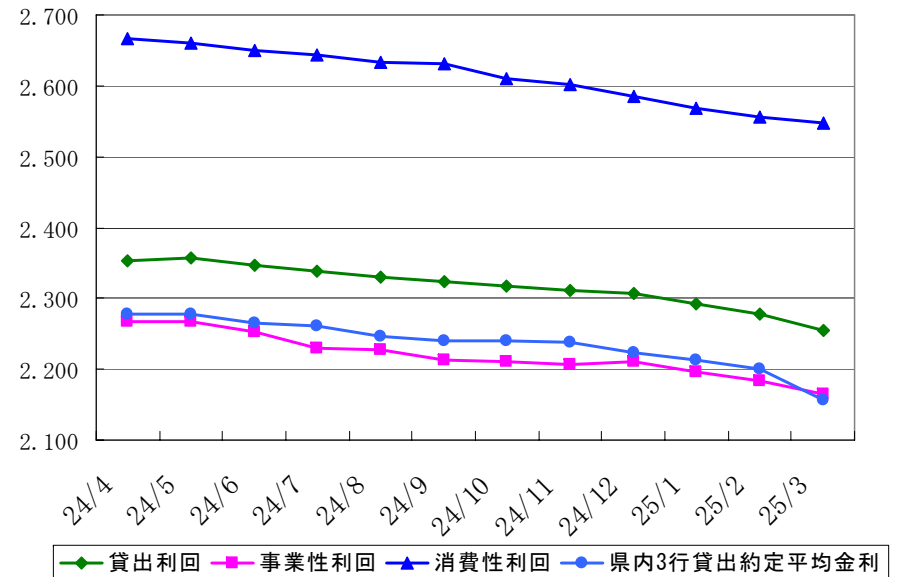
■ 預金・貸出業務 ■ 為替業務 ■ 証券関連業務 ■ 代理業務 ■ その他

預貸金利鞘 (国内)

(単位: %)



月別の貸出利回りの推移



資料) 当行、日銀那覇支店

有価証券（末残）

残高

評価損益

3,535

4,466

5,399

6,002

総額

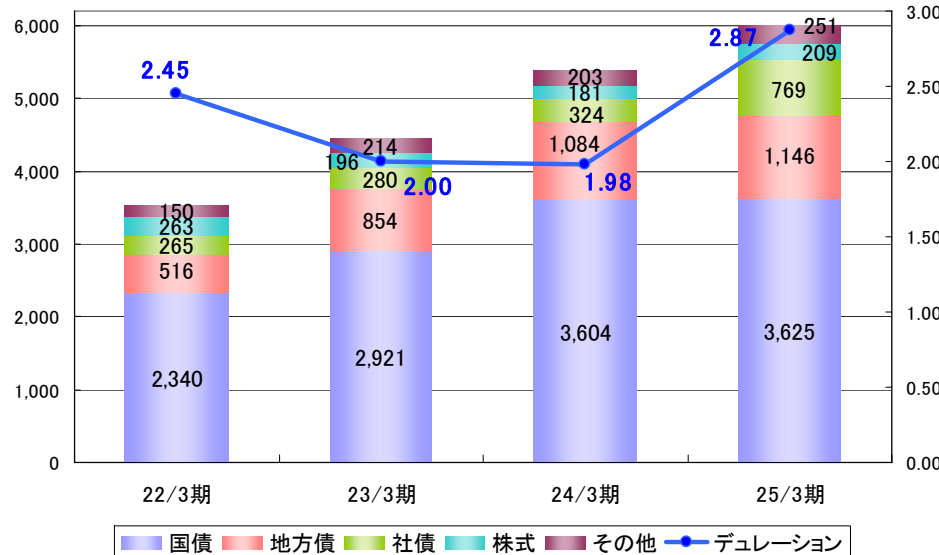
83

55

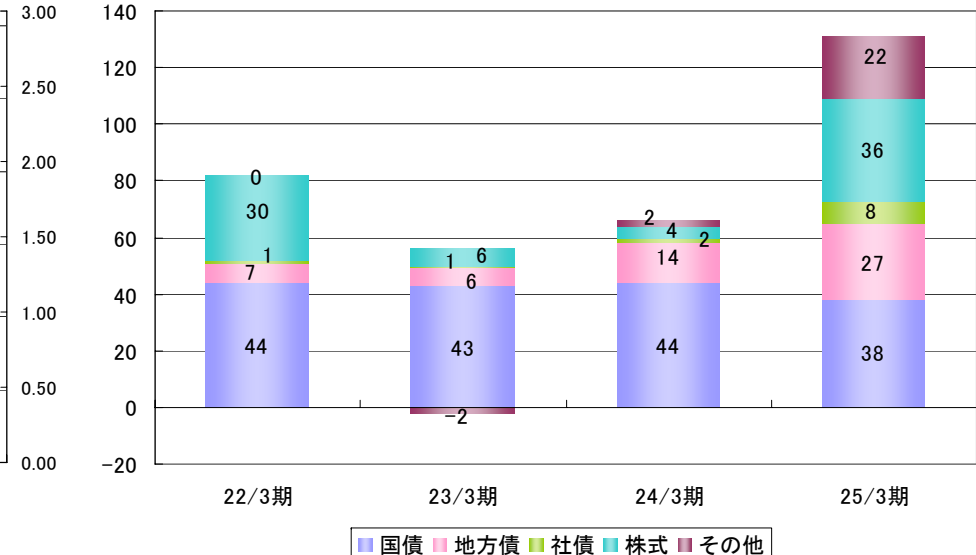
68

132

(単位:億円)



(単位:億円)

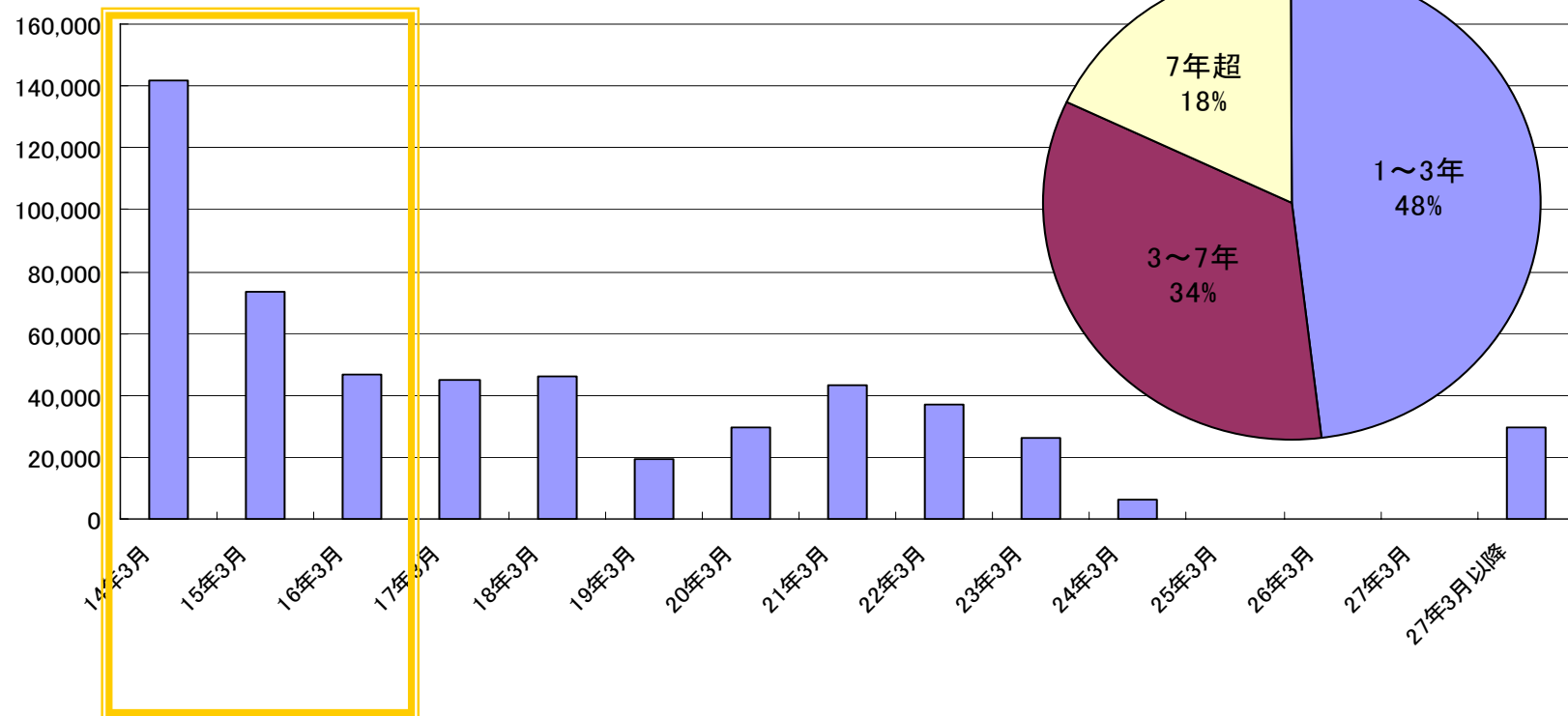


国内債券（償還年限別残高）

保有国内債券の約48%が1年～3年の中短期債で構成

金利上昇による価格下落リスクは当然あるが、
再投資（変動国債のクーポン改定）による利回り高揚効果も期待できる

(百万円)



県内シェア（県内3行シェア）（平成25年3月期）

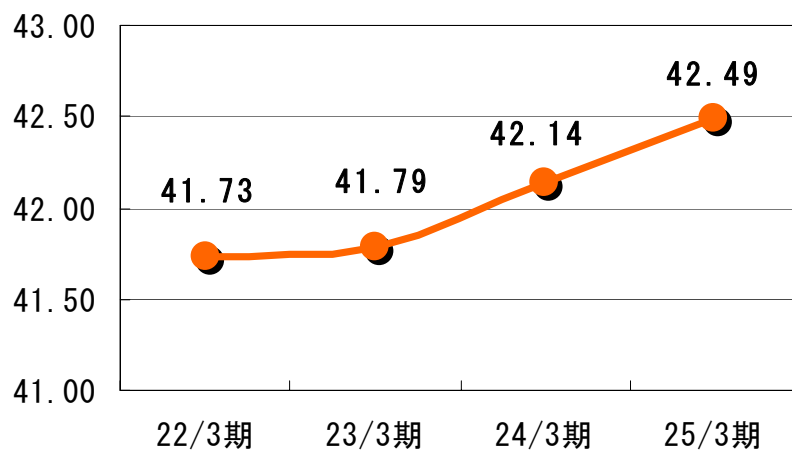
貸出金シェア上昇・預金シェア低下

貸出金シェア 42.49%（前期比0.37ポイントの上昇）

預金シェア 42.46%（前期比0.06ポイントの低下）

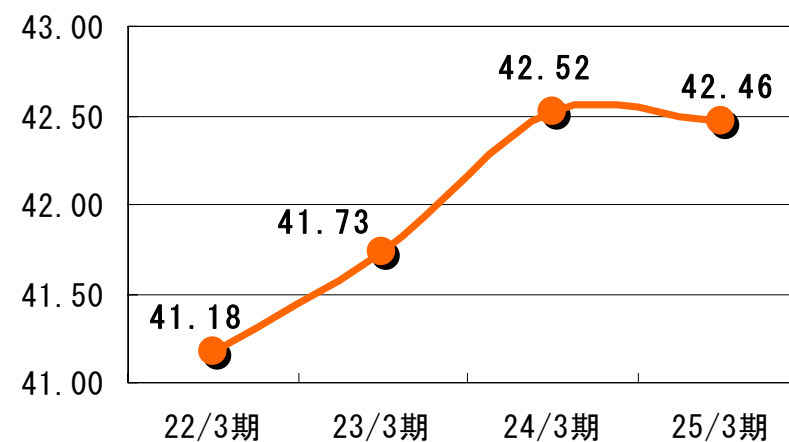
貸出金（平残）

（単位：%）



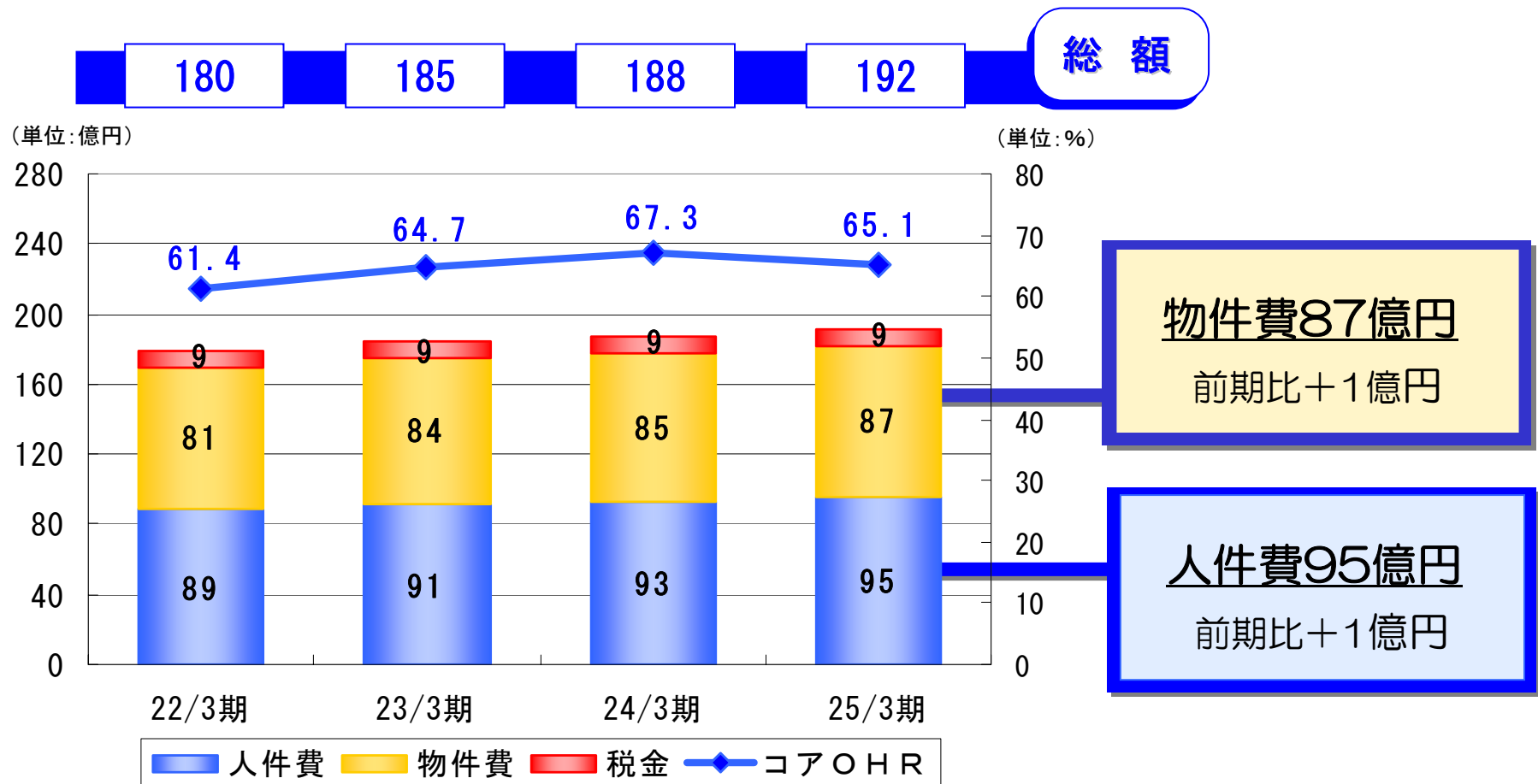
預金（平残）

（単位：%）



経費の推移

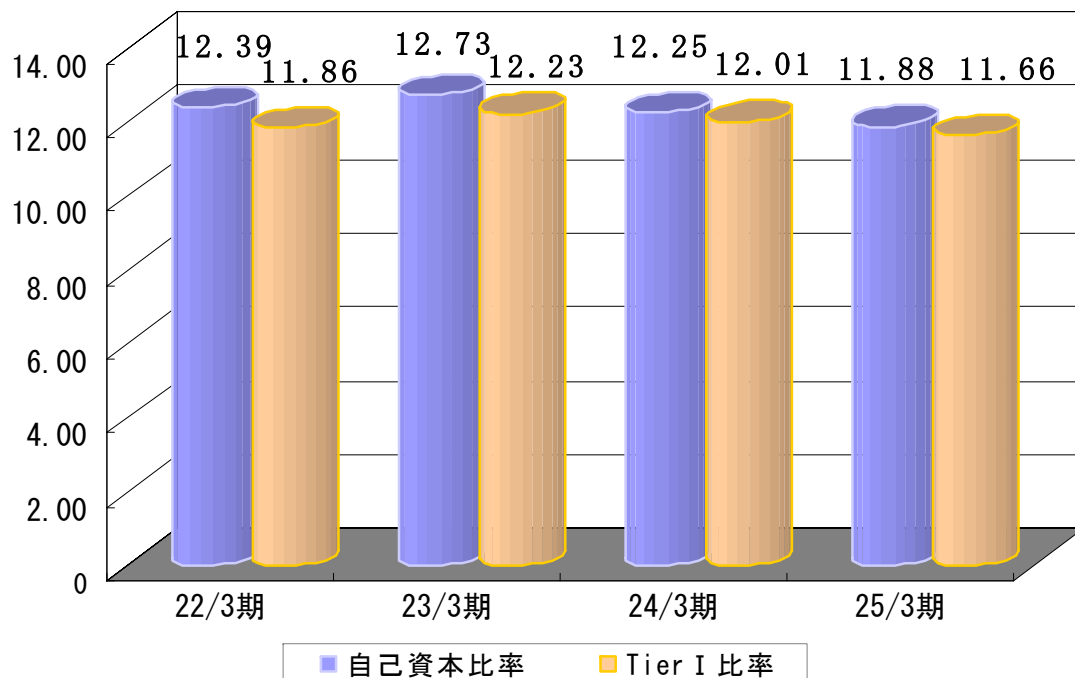
退職給付費用増加等により人件費増加、事務委託費増加等により物件費増加
 経費総額は192億円（前期比+4億円）



自己資本比率・Tier I 比率

自己資本比率(国内基準)は、11.88% (前期比▲0.37%)
Tier I 比率は、11.66% (前期比▲0.35%)

(単位：%)



25/3期地銀平均自己資本比率
自己資本比率：11.47%
Tier I 比率：9.94%

資料) 当行 調べ

バーゼルⅡへの対応

信用リスク：標準的手法

オペレーショナル・リスク：基礎的手法

アウトライヤー比率

| | 総金利リスク量 | アウトライヤー比率 |
|----------|----------|-----------|
| 平成25年3月末 | 2,560百万円 | 2.25% |

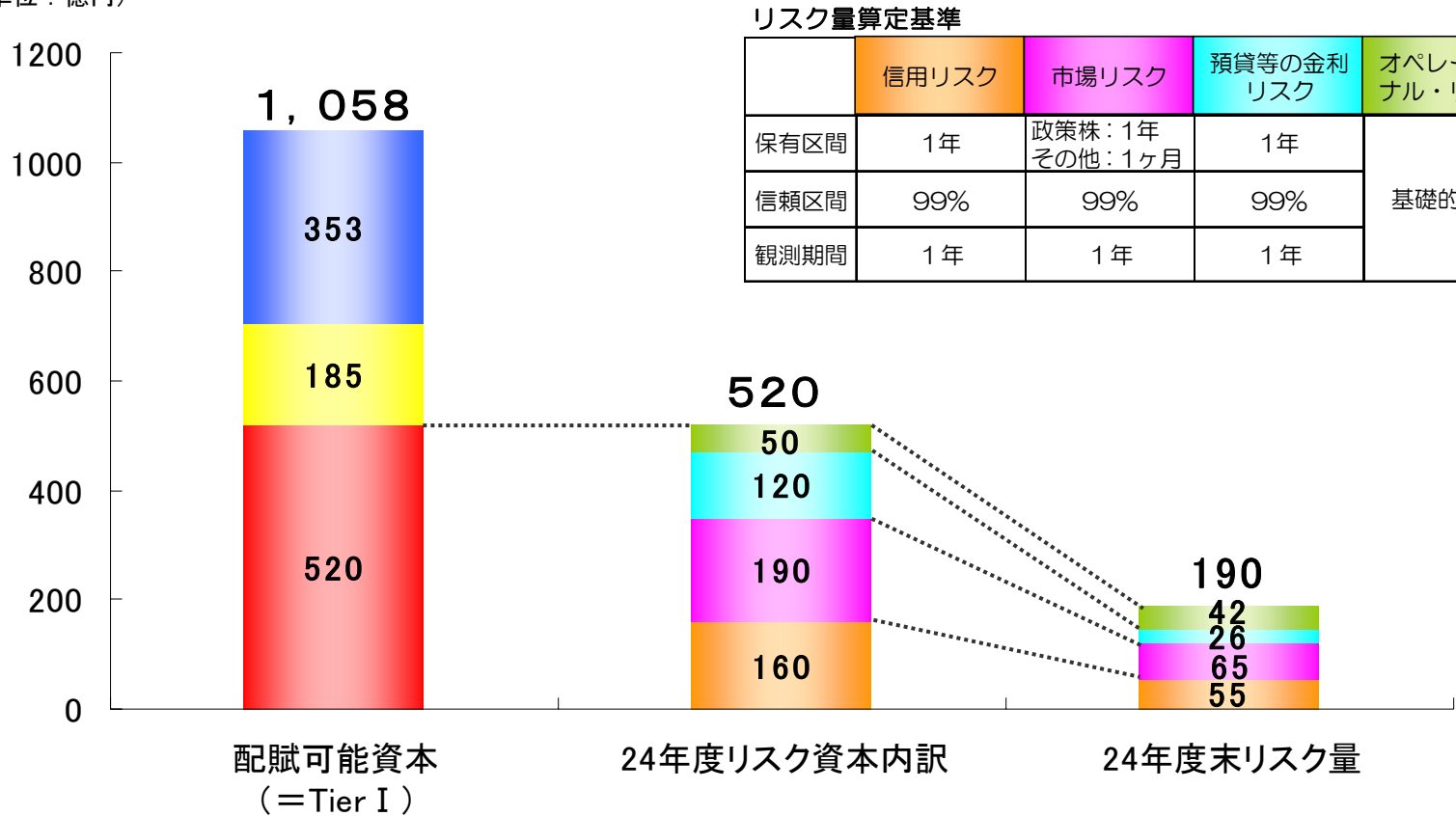
パーセンタイル値基準

コア預金は流動性預金の期末残高の50%、
平均満期2.5年として計算

リスク管理 ～ 資本配賦 ～

Tier I の範囲内でリスクをコントロール

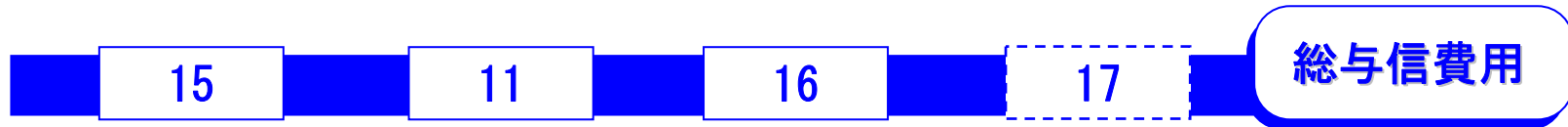
(単位：億円)



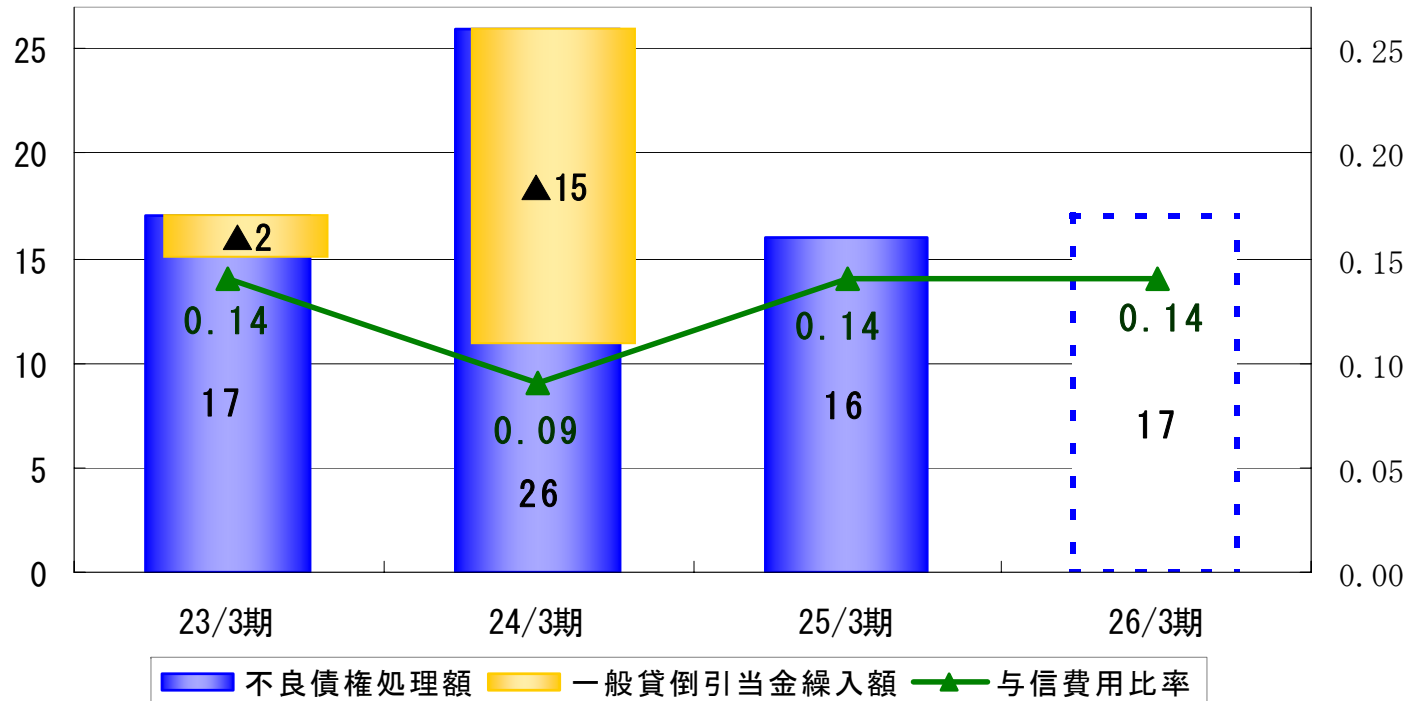
■ 信用リスク
 ■ 市場リスク
 ■ 預貸等の金利リスク
 ■ オペレーショナル・リスク

与信費用の推移

総与信費用は一般貸倒引当金繰入額戻入減少により増加
 総与信費用は、16億円（前期比+5億円）



(単位:億円)



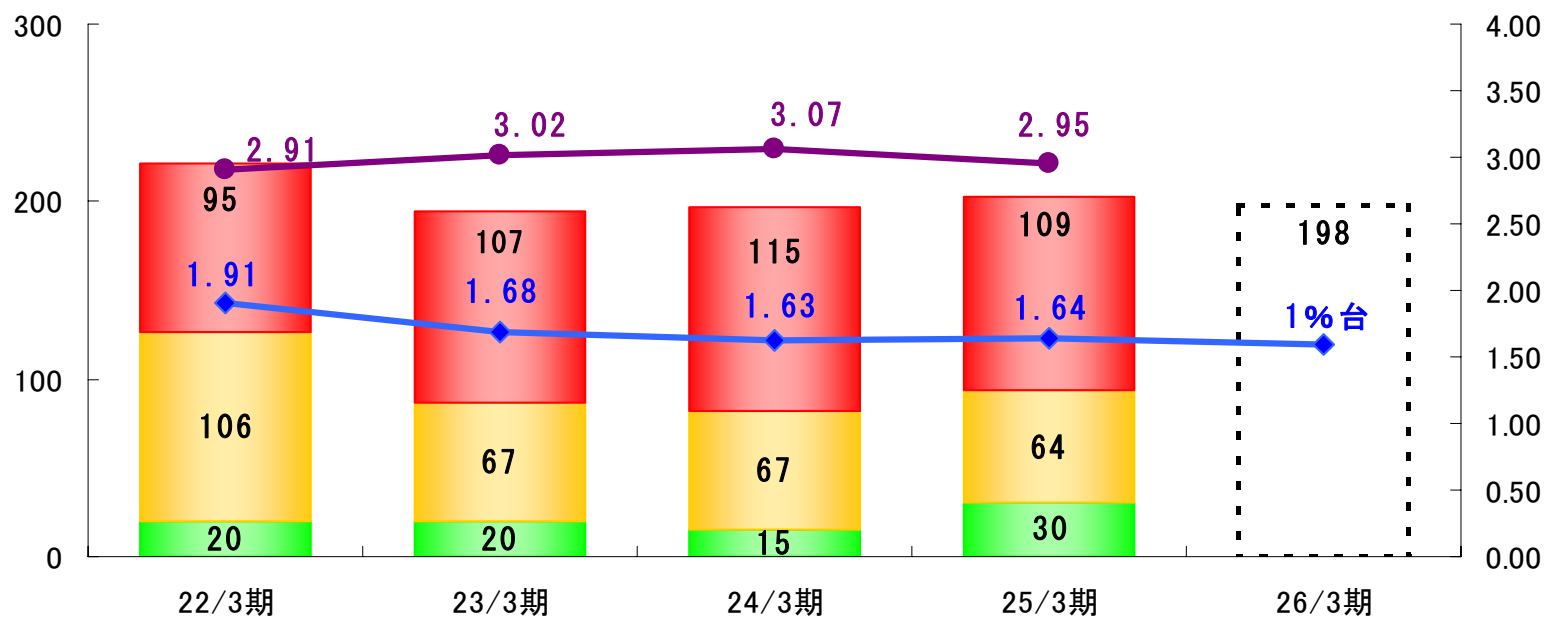
金融再生法に基づく開示債権

要管理債権(ランクダウン先の増加)により開示債権比率は0.01%上昇
 金融再生法に基づく開示債権が205億円(1.64%)



(単位:億円)

(単位:%)



■ 要管理債権
 ■ 危険債権
 ■ 破産更生債権及びこれに準ずる債権
 ◆ 開示債権比率
 ◆ 開示債権比率(地銀平均・当行調べ)